

# 補助金評価シート(平成22年度実績分)

## (1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
93002	辰野町衛生自治連合会補助金		住民税務課	生活環境係	松井 夕起子	古田 悟	
			一次評価年月日	平成 23 年 5 月 20 日	連絡先[内線]	2114	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)		
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0404	環境衛生事業		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境			
		節 (コード選択)	4節	地球環境を守る			
		項[基本施策] (コード選択)	141	循環型社会の構築			
		主な取り組み (コード選択)	1412	ごみ減量化の啓発とリサイクルの推進			
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他		
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始)	年度 ~ (終了予定)	年度			
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他( )					
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称: )					
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助						
補助金の財源内訳	<input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)						

## (2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等  公益法人  企業や団体  個人

( 交付団体名 : 辰野町衛生自治連合会 )

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町の環境、衛生行政に協力をいただきながら、公衆衛生の普及と向上をはかり、町民が健康で文化的な生活を営むことができる環境をつくる。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	各地区の環境、衛生活動の活動助成として補助金を交付
2	各地区の収集ステーションの管理・運営、530清掃、有害ごみ等の収集協力の実施。ごみ処理施設等の視察及び出前講座によるごみ・資源物の適切排出の周知活動及び、意見交換等の実施。

## (3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名	各地区へ報償費を交付	円	342,880	343,425	370,000	0.93	343,425
① 説明	各地区の環境、衛生活動の活動助成としての補助金を交付する。	目標値設定の根拠	各区の戸数、隣組数に基づき補助金額を算出				
② 指標名	住民への適切な分別収集、排出の周知及び処理施設等への視察	回数	視察9箇所、出前講座5回	視察5箇所、出前講座6回	視察5箇所、出前講座6回	#VALUE!	視察5箇所、出前講座6回
② 説明	適切な分別収集の周知を図るために現地視察及び排出説明会を実施	目標値設定の根拠	計画収集の実績量や、排出の問題点をふまえて検討する				

## (4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度										
事業費(円)		700,000			700,000			700,000			700,000										
補助率(町負担分)		100%			100%			100%			100%										
町交付額(円)		700,000			700,000			700,000			700,000										
財源内訳	特定財源																				
	国庫支出金																				
	県支出金																				
	地方債																				
	その他																				
一般財源		700,000			700,000			700,000			700,000										
人件費の概算		(千円)																			
対前年比		%																			
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/
町職員(正規職員)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.05	0.05	0.05	0.17	0.17	0.17	0.24	0.24	0.24	0.24	1,709	1,706	1,719	1,651
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート												0	0	0	0				

**(5) 補助金の効果の評価 [Check]**

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由} 〔理由〕 ごみ減量化、リサイクル化といった正しい排出方法を、各区の衛生理事をとおして住民に周知徹底することにより、快適なまちづくりを推進していく必要性がある。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由} 〔理由〕 活動をととして、町内のごみ排出量抑制すると同時にリサイクル化を推進し、循環型社会への移行や温暖化防止等、地球環境保全に向けた取組を今後も推進していく必要性がある。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由} 〔理由〕 活動によって、収集ステーションをはじめ町内の環境・衛生を適切に保ち、住みやすい環境づくりを推進している。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由} 〔理由〕 ごみや資源物の排出方法を住民に周知徹底することにより、ごみの収集段階から最終処分までに生ずる過度の経費を縮小させ、住民の排出負担を抑制していく必要性がある。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	B	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由} 〔理由〕 定期的に各地区の衛生自治連合会の理事に対して、収集ステーションの適正排出の調査を行っている。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	A	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由} 〔理由〕 衛生自治連合会の活動により、年々収集ステーションへの不適切な排出等のトラブルは減少傾向にある。また、ごみ減量化やリサイクル化に対する住民の意識も向上してきていると思われる。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由} 〔理由〕 廃棄物の適切な排出等の住民への広報・周知活動や、収集ステーションの管理・運営の補助等全町民を対象におこなっている。
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由} 〔理由〕 平成20年度に、10万円減額
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか	A	衛生自治連合会の活動のなかで、廃棄物の適切な排出を推進することにより、町の廃棄物処理に係る経費を抑制することができる。あわせて住民の環境・衛生に対する意識向上を図りながら、住みよい環境づくりを一層推進することができる。	

**(6) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

**〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

- a 増額する  
 b 減額する  
 c その他(隔年対応等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)	
--------	--

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	23年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
衛生自治連合会は各地域に必ず存在する、地域密着の組織である。環境美化、公衆衛生、ごみの減量化、リサイクル等の必要性を、今後も住民に対して周知していく必要性がある。	〔反映内容〕		

**(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
町内各区に組織されている衛生自治会は、環境美化、公衆衛生、ごみの減量化、リサイクル等の活動をいただき効果が上がっており、引き続き活動を依頼したい。活動内容から見た補助金も妥当と思える。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

上記 a ~ c を選択